

2023年度
学生募集要項

京都美術工芸大学大学院

Graduate School of Architecture, Kyoto Arts and Crafts University

建築学研究科 建築学専攻

KYOBIBI
Graduate School of Architecture,
Kyoto Arts and Crafts University
2023

◆目次

◇概要	… 2
教育目的及び入学者受け入れ方針【アドミッション・ポリシー】	… 2
教育課程編成方針【カリキュラム・ポリシー】	… 2
学位授与方針【ディプロマ・ポリシー】	… 3
建築学研究科建築学専攻の授業科目種類、単位数等	… 3
授与学位	… 4
研究指導教員一覧	… 4
◇建築学研究科建築学専攻 入試日程・募集人員	
入試日程	… 5
募集人員	… 5
標準修業年限	… 5
出願資格	… 5
出願書類一覧	… 6
選抜方法	… 7
出願書類提出先	… 7
試験場所	… 7
合格発表	… 7
入学手続締切日	… 7
入学金・授業料等	… 7
個人情報への取扱い	… 7
資格取得に関する補足事項	… 8
受験上の注意事項	… 8
東山キャンパス案内・交通アクセス	… 9

京都美術工芸大学大学院建築学研究科建築学専攻(修士課程)

◇概要

大学院教育は、複雑かつ多様な現代社会が抱える諸課題を踏まえ、建築に関わる高度な教育研究プログラムを整備するとともに、一級建築士試験受験に向けた支援体制を整え、現実の課題を解決できる実践力を身につけた、高度専門職業人を養成します。

◆教育目的及び入学者受け入れ方針【アドミッション・ポリシー】

建築学専攻は、大学の理念、教育目的を理解するとともに建築学専攻の教育目的・方針に沿って常に自己の可能性を追求していく持続性や熱意を持ち合わせ、真摯に学業に励むことのできる素養を持った以下のような学生を求める。

- ① 建築を通して、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人。
- ② 知的好奇心に富み、建築やその関連分野の専門職業人として、社会の発展に貢献したい心を持った人。
- ③ 自主的に学ぶ姿勢と柔軟な思考を持ち、建築やその関連分野で優れた才能を有する人、あるいは持ちたいという情熱を有する人。
- ④ 常に他者を尊重する姿勢と協調性に富み、リーダーシップを発揮することのできる人、あるいは組織の中で必要とされる素養を有する人。
- ⑤ 本学の教育課程を学修するための基礎的な学力とコミュニケーション力を身につけた人。

◆教育課程編成方針【カリキュラム・ポリシー】

建築学専攻ディプロマ・ポリシーに掲げる素養を備えた人材を育成するために、以下の方針で教育課程を編成、実施する。

- ① 美術工芸科目、専門特論科目及びその他必要な科目を体系的に編成する。
- ② 教育目的に合わせて、講義、演習、実習等を適切に組み合わせる。建築全般に関わる教育だけでなく、建築デザイン領域と伝統建築領域の特徴に沿った適正な教育プログラムを領域ごとに編成し実施する。
- ③ 建築デザインや施工、あるいは文化財の保存修復など建築関連のものづくり世界で活躍するための実践的な教育内容、あるいは協調性やコミュニケーション力・表現力等を高める教育内容を適切に盛り込む。
- ④ 現物の建築の調査や視察を体験する中で、その持っている意味をより深く理解し、新しいものづくりへ展開させる。

◆学位授与方針【ディプロマ・ポリシー】

建築学専攻では、京都美術工芸大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の素養を身につけた学生に対して修士の学位を授与する。

- ① 美術工芸及び建築デザイン領域だけでなく施工や歴史文化、あるいは建築関連法規など建築に関する高度で幅広い知識、技能。
- ② 建築行為を通じて社会の発展に貢献するための実現可能性の高い課題解決力、伝統の継承およびそれらを基にした新しい文化や作品作りにつながる高度で独創的な構想力、発想力。
- ③ 日本の歴史文化を修得理解するとともに、グローバルな視点も視野に入れた新しい文化づくりへ発展させる鋭い感性・安定した価値観。
- ④ 建築は単体の作品ではなく文化そのものであり、また多くの人々の協力の中から作品が生まれるという観点から、多様な人々と協働するための協調性、コミュニケーション力、表現力。

◆建築学研究科建築学専攻の授業科目種類、単位数等

科目区分	授業科目の名称	単位数		履修単位
		必修	選択	
美術工芸科目	美術工芸特論		2	4 単位以上を修得のこと
	インテリアデザイン特論		2	
	都市環境と芸術		2	
	工芸とデザイン		2	
	小計 (4 科目)	0	8	
専門特論科目	伝統建築特論Ⅰ	2		必修 8 単位を修得のこと
	伝統建築特論Ⅱ	2		
	建築計画特論Ⅰ	2		
	建築計画特論Ⅱ	2		
	建築設計特論Ⅰ		2	
	建築設計特論Ⅱ		2	
	小計 (6 科目)	8	4	
専門研究科目	建築デザイン特別演習Ⅰ		6	必修 12 単位、選択 6 単位以上を修得のこと
	建築デザイン特別演習Ⅱ		6	
	建築学特別研究Ⅰ	6		
	建築学特別研究Ⅱ	6		
	インターンシップⅠ		8	
	インターンシップⅡ		8	
	小計 (6 科目)	12	28	

以上、合計 30 単位以上を修得のこと、および修士研究（修士論文又は修士設計）を提出のこと

◆授与学位

- ・研究科名： 建築学研究科 〈Graduate School of Architecture〉
※ 令和5（2023）年4月より、工学学研究科の名称を「建築学研究科」に変更予定です。
- ・専攻名： 建築学専攻 〈Major of Architecture〉
なお、学部の建築学科と大学院の建築学専攻を一体として表記する場合は、School of Architecture を使用する
- ・学位： 修士（建築） 〈Master of Architecture〉

◆研究指導教員一覧

指 導 教 員	専 門 分 野
タダ ミツ 高田 光雄 教授	建築計画（住まい・まちづくり、リノベーション）
イノウエ シンイチ 井上 晋一 教授	建築計画（集合住宅設計、建築心理、空間構成）
オノウエ ナキ 大上 直樹 特任教授	伝統建築（日本建築技術史、伝統建築保存修理）
タネムラ トシキ 種村 俊昭 特任教授	建築デザイン（アーバンデザイン、福祉住環境）
ヤマウチ タカヒロ 山内 貴博 教授	建築デザイン（ランドスケープデザイン、景観）
ヤスダ テロオ 安田 光男 教授	建築デザイン（建築設計、インテリアデザイン）
モリシゲ サチコ 森重 幸子 教授	建築計画（町家・細街路再生、住宅設計）
ナカガキ ケイイチロウ 生川 慶一郎 教授	建築計画（建築企画、リノベーション）
シンカイ シュンイチ 新海 俊一 教授	空間デザイン（環境デザイン、都市解析）
イノウエ トシカズ 井上 年和 准教授	伝統建築（伝統建築保存修理、街並保全）
ヒトミ マサトシ 人見 将敏 准教授	建築デザイン（近代建築史、意匠論）
カムラ タイスケ 河村 大助 准教授	建築デザイン（施設設計、建築生産）
ミヤウチ トモヒサ 宮内 智久 准教授	建築デザイン（建築設計、キュレーション）
オカ タツヤ 岡 達也 准教授	美術工芸（近代デザイン史、工芸、図案）
エモト ヒロシ 江本 弘 講師	伝統建築（世界建築史、アーカイブズ）
シンタニ ケンイチロウ 新谷 謙一郎 講師	建築デザイン（建築構造、数理解析）
カガイ ヒデユキ 永井 秀幸 講師	建築デザイン（都市マネジメント、データサイエンス）
ネコノ ヒロノリ 根来 宏典 講師	建築デザイン（住宅設計、居住空間デザイン）

（令和4年6月現在）

◇建築学研究科建築学専攻 入試日程・募集人員

◆入試日程

入学試験種別		出願期間(必着)	試験日	結果発表日	手続締切日(必着)
Ⅰ期	学内等推薦	2022年9月20日(火) ～10月6日(木)	2022年 10月15日(土)	2022年 11月1日(火)	入学金： 2022年11月11日(金) 授業料等： 2022年12月9日(金)
	一般				
Ⅱ期	学内等推薦	2022年12月20日(火) ～2023年1月17日(火)	2023年 1月24日(火)	2023年 2月3日(金)	入学金： 2023年 2月14日(火) 授業料等： 2023年 3月 9日(木)
	一般				

◆募集人員

建築学研究科建築学専攻 10名

◆標準修業年限

2年

◆出願資格

本学大学院の出願資格は、次の各号に掲げる要件のいずれかに該当するものとする。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者および2023年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項により学士の学位を授与された者および2023年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育による16年の課程を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月文部省告示第5号)
- ⑧ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で本学研究科入学までに22歳に達する者

◆出願書類一覧

	出願書類	出願書類作成上の注意	学内等 推薦	一般 入試
1	入学願書・受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙を使用し、必要事項を漏れなく黒のボールペンで記入してください。 ・写真欄に3カ月以内に撮影した無帽、上半身のを貼付してください。 <p>※ 写真は志願票(1枚)・受験票(2枚) 計3枚同一のものを準備して下さい。</p>	○	○
2	出願資格を証明する書類 及び 成績証明書等	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の卒業(見込)・修了(見込)証明書及び成績証明書 ・出願資格②により出願する者については学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書、授与見込みの者は学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書、及び基礎資格となる学校の成績証明書を提出してください。 	○	○
3	入学検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料35,000円を本学所定の振込用紙を使って納入していただき、郵便局の振替払込受付証明書を受験票の所定の貼付欄に貼付してください。 	○	○
4	受験票返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・同封の長形3号の封筒に、受験者の送付先住所を記入し、その上に344円分の切手を貼付して下さい。 	○	○
5	学内等推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の様式に入学志願者を推薦する教員が記入し、京都美術工芸大学長・京都建築大学校長が発行したものを厳封の上、提出してください。 	○	×
6	外国人出願者が提出するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・在留カードの写し ・日本語能力試験等の成績通知書(コピー可) 	該当者	該当者

◆選抜方法

学内等推薦入試：面接、推薦書類、成績証明書等を総合して判定します。

一般入試：小論文、面接、成績証明書等を総合して判定します。

◆出願書類提出先

本学所定の封筒を使用し、速達・簡易書留にて下記の送り先へ郵送して下さい。

送り先 〒605-0991 京都市東山区川端通七条上ル

京都美術工芸大学事務局 大学院担当 TEL：075-525-1515

◆試験場所

京都美術工芸大学京都東山キャンパス（京都市東山区川端通七条上ル）

◆合格発表

第Ⅰ期募集：2022年11月1日(火)

第Ⅱ期募集：2023年2月3日(金)

※ 発表日に、郵送で合格者へは合格通知書等書類、不合格者へは通知書を発送します。

なお、電話による問合せには一切応じません。

◆入学手続締切日

第Ⅰ期募集：入学金 2022年11月11日(金)

授業料等 2022年12月9日(金)

第Ⅱ期募集：入学金 2023年2月14日(火)

授業料等 2023年3月9日(木)

※ 入学手続時に提出された書類及び納入された入学金は返還しません。

◆入学金・授業料等

入学金 300,000円

授業料 790,000円〔年額〕(前期 395,000円、後期 395,000円)

施設設備費 360,000円

計 1,450,000円〔実習諸費等は除く〕

※ 成績優秀な学生及び学内等進学者に対する入学金の一部免除〔150千円〕制度があります。

◆個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、「学校法人二本松学院個人情報の保護に関する規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

- ① 出願書類に記載された個人情報については、入学選抜、合格発表及び入学手続き業務を行うためにのみ利用します。
- ② 入学選抜の試験成績は、本学の入学選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- ③ 入学者の個人情報については、教務関係・学生支援関係・授業料関係業務にのみ利用します。

◆資格取得に関する補足事項

○ 一級建築士（国家資格）

建築士には、一級建築士、二級建築士、木造建築士の3種類があり、その資格により設計・工事監理できる建築物に違いがある。

一級建築士は、国土交通大臣の免許を受け、一級建築士の名称を用いて、設計・工事監理等の業務を行うものである（建築士法第2条第2項）。

一級建築士は、次のような設計・工事監理に複雑・高度な技術を要する建築物を含むすべての施設の設計及び工事監理を行うことができる（建築士法第3条）。

1. 学校・病院・劇場・映画館・公会堂・集会場・百貨店の用途に供する建築物で、延べ面積が500㎡を超えるもの
2. 木造建築物又は建築の部分で、高さが13m又は軒の高さが9mを超えるもの
3. 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、石造、れん瓦造、コンクリートブロック造もしくは無筋コンクリート造の建築物又は建築の部分で、延べ面積が300㎡、高さが13m、又は軒の高さが9mを超えるもの
4. 延べ面積が1000㎡を超えかつ階層が2階以上のもの

本学大学院においては、一級建築士試験受験に向けた支援体制（個別相談および対策講座に係る学費免除等）が整備されている。

◆受験上の注意事項

- ① 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。やむを得ない事情により遅刻した場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- ② 試験室に入室してから試験終了までは、退室できません。
- ③ 試験時間中は、休憩時間でも試験会場外に出ることはできません。受験票送付時に通知する試験時間により、必要な場合は、あらかじめ昼食を持参してください。
- ④ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、不正防止のため必ず電源を切りカバン等にしまってください。
- ⑤ 試験日の3日前になっても受験票が到着しない場合は、本学事務局に問合せってください。
- ⑥ 配付された問題冊子は試験室から持ち出すことはできません。
- ⑦ 受験票は入学手続きの際に必要となりますので、保管しておいてください。

◆東山キャンパス案内・交通アクセス



- JR・近鉄・地下鉄「京都」より徒歩約15分、バスで約7分
- 京阪「七条」駅下車、6番出口すぐ
- 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

●主要駅からのルート・所要時間

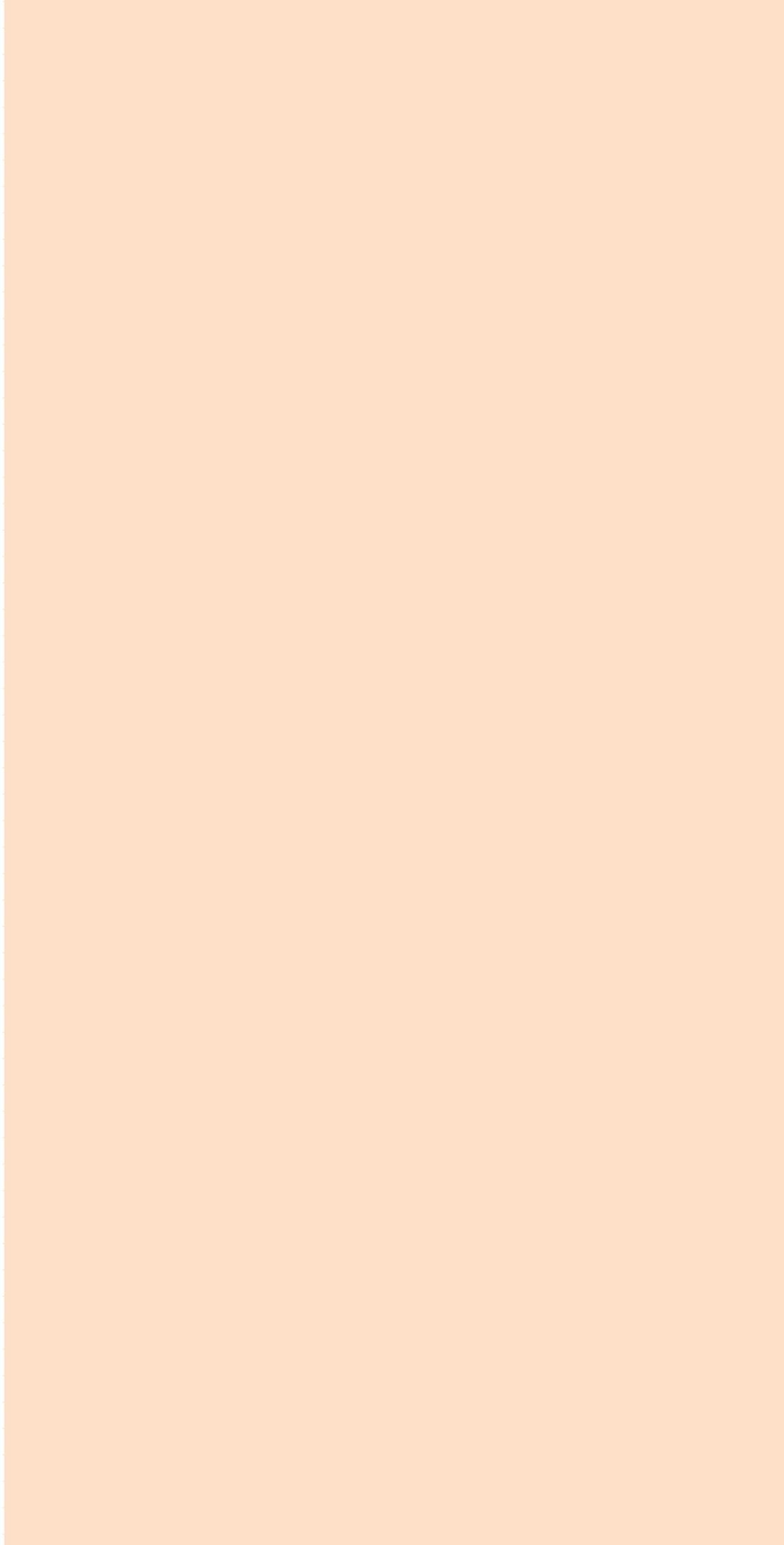
大阪方面より	大阪	JR	約30分	京都	市バス(206・208/100・110) プリンセスラインバス 「京阪七条」下車 徒歩すぐ	
	天王寺	JR	約14分	京橋		京阪
	堺	南海	約8分	新今宮		
兵庫方面より	三ノ宮	JR	約55分	京都	市バス(206・208/100・110) プリンセスラインバス 「京阪七条」下車 徒歩すぐ	
	十三	阪急	約45分	河原町		徒歩
	大和西大寺	近鉄	約26分	丹波橋		京阪
奈良方面より	奈良	JR	約46分	東福寺	京阪	約2分
	彦根	JR	約52分	京都	市バス(206・208/100・110) プリンセスラインバス 「京阪七条」下車 徒歩すぐ	
堅田	JR	約27分	京都			

京都美術工芸大学(東山キャンパス)

京都美術工芸大学 京都東山キャンパス
事務局 大学院担当

〒605-0991 京都市東山区川端通七条上ル

【電話】 075-525-1515 【FAX】 075-533-6033



KYOB
京都美術工芸大学